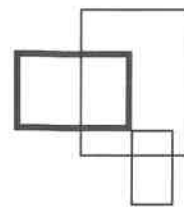


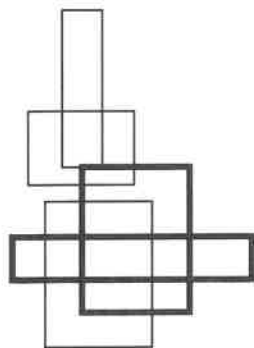


Matsuyama
Business
College



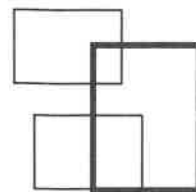
松山デザイナー専門学校

ファッションクリエイター学科



2024 年度

シラバス



パタンナーコース 2 年

名前

※一年間、各自保管すること

令和6年度

服飾家政専門課程 ファッションクリエイター学科 パタンナーコース

必修 /選 択		区 分	科目名	種別	担当者	パタンナーコース 2年		
						前期	後期	単位
必修	学科 共 通	服飾造形Ⅲ	実習	大野幸	180		6	
		パターンメイキングⅡ-A	講義	野口	60		4	
		舞台衣装Ⅰ	講義	川上	30		2	
		色彩学Ⅲ	講義	森田	30		2	
		デジタル演習Ⅲ	実習	野田	30		1	
		クリエイションデザインⅢ	実習	友廣	60		2	
		服飾造形Ⅳ	実習	大野幸		180	6	
		パターンメイキングⅡ-B(マーベラス)	講義	野口		60	4	
		舞台衣装Ⅱ	講義	川上		30	2	
		色彩学Ⅳ	講義	森田		30	2	
		デジタル演習Ⅳ	実習	野田		30	1	
		研修	実習	大野幸		30	1	
	コー ス	パターンメイキングⅡ-C	講義	大野幸	30		2	
		アパレルCADⅠ	講義	玉井	30		2	
		パターンメイキングⅡ-D	実習	大野幸		30	1	
		アパレルCADⅡ	講義	玉井		30	2	
		創作パターン/サンプル縫製(メンズ・キッズ)	実習	野口		30	1	
					450	450	41	
必修科目合計					900			
年間合計時間/単位数					900 41			

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

授業科目	服飾造形Ⅲ			時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。						
学習到達 目標	学園祭ファッションショーでオリジナルデザイン作品を発表する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	年間計画・Fショーについて		年間計画				
2～4	デザイン考案		学園祭Fショー デザイン画プレゼンテーション				
5～10	Fショー作品制作1点 学園祭 7月(40コマ)		パターン作成、トワフル組み立て、修正、縫い代付け				
10～44			裁断、縫製、仕上げ				
45～50	ジャケット柄(36コマ)		パターン作成、トワフル組み立て、修正、縫い代付け				
51～80			裁断、縫製、仕上がり				
81～82	部分縫い(2コマ)		薄物の仕立て方、袋縫、パイピング				
83～90	舞台衣装(8コマ)		舞台衣装制作				
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性20%、縫製技術60%、スピード20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキングⅡ-A			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科2年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要なデザイン表現技術の修得を目指す。						
学習到達 目標	デザイン画を見て各アイテムのパターンを制作できる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が「今」のファッションを表現するパターンテク ニックと型紙の制作方法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	授業ガイダンス		授業、制作物について				
2	ダーツ操作のバリエーション		ウエスト・ゴージ・センター・ショルダー・アームホール・ウエスト2種				
3～5	袖のバリエーション		ランタン・ペタル・ジゴ・タック・フレアー・パフスリーブ(実寸製図)				
6～8	襟のバリエーション		スタンド・台襟付きシャツカラー・シャツ・フラット・ステン(実寸製図)				
9～10	ブラウス製図		工業用パターン作成				
11～13	ブラウス製図		仕様書作成				
14～16	トワールによる実寸組立て		トワール裁断・ピンワーク				
17	パンツ原型		パンツ概論・パンツ原型製図(縮尺製図)				
18～19	パンツのバリエーション		フレアードパンツ・ペグトップパンツ・ベルボトムパンツ(縮尺製図)				
20～22	トワールによる実寸組立て		トワール裁断・ミシン縫製				
23～24	創作ブラウス製図		各バリエーションから組み合わせデザイン・オリジナルパターン(実寸製図)				
25～26	創作ブラウス製図		工業用パターン作成・仕様書作成				
27～29	創作ブラウス製図		トワール裁断・ピンワーク				
30	テスト		前期修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	『パターンメイキングⅠ』他2冊 『ドレメオリジナル原型 1/5』 『ドレメニューパターンブック No 6』 他 約11点						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	舞台衣装Ⅰ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	川上 須賀代	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年
授業科目の テーマと目的	舞台衣装デザインに必要な表現力と発想力を身につけ、機能的な衣装制作を目指す。				
学習到達 目標	基本原型からパターン展開し、舞台衣装に対応できるオリジナルパターンと制作ができるようになる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 コスチュームクリエイターとして活動している教員が、基礎的な舞台衣装制作の知識と技術を指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	衣装概論・製図	衣装制作に必要な製図方法			
2	立体検証①	袖応用・袖山の検証			
3	立体検証②	デザイン画を読み取り、製図方法を立体で検証			
4	衣装デザインについて	衣装デザイン説明と機能的パターンについて			
5～11	パターンメイキング	デザイン画を元にパターンメイキング			
12～14	トワール作成	シーチングを用いてトワール制作			
15	仮縫いフィッティング	演者に向けて仮縫いフィッティング			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題80%(縫製、完成度)、プレゼンテーション20%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	色彩学Ⅲ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	金曜 1限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	「ファッション色彩Ⅰ」で学んだ色彩の基礎理論をさらに掘り下げ、ファッション業界の企画から流通に いたる様々な実務において色彩を活用できるよう考え方や手法を学ぶ。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定2級合格できる知識の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師 が、その経験を活かし、色彩の実務での活用方法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	産業における色彩		産業と色彩				
2	〃		ファッション産業と色彩				
3～4	色彩理論-光、視覚、心 理		光と色				
5	〃		色覚のしくみ				
6	〃		色彩と心理				
7	色彩体系-色名とカラー システム		色名				
8	〃		三属性による色の表示方法				
9	〃		色見本とカラーコード				
10	配色と色彩調和		流行配色				
11	〃		調和の技術				
12	〃		色彩調和論				
13	〃		ファッション イメージとカラーコーディネート				
14	〃		日本の古典的な配色-重ねの色目				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅱ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験2級問題集：日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判(品番:23177) 3M スリーエム ポストイト カバーアップテープ 8.5mm(コード:31247818)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定2級 2025年1月18日(土)		
備考							

授業科目	デジタル演習Ⅲ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年
授業科目の テーマと目的	商品企画を中心にデジタルデザインで企画MAPなどを制作。				
学習到達 目標	自ら企画書を制作できプレゼンできる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	ブランド企画Ⅰ	ブランディングとは コンセプトとターゲット			
3～4	ブランド企画Ⅰ	imageMAPとデザイン			
5～6	ブランド企画Ⅰ	ハンガーイラストとカテゴリーMAP			
7～8	ブランド企画Ⅰ	販促と広報			
9～10	OEMからのデザイン	ブランドリサーチ			
11～12	OEMからのデザイン	デザイン出し			
13～14	OEMからのデザイン	MAP制作			
15	OEMからのデザイン	プレゼンテーション			
使用テキスト 教材・教具	プリント配布				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題60%、プレゼンテーション40%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	クリエイションデザインⅢ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	友廣 麻紀		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年	
授業科目の テーマと目的	インスピレーションの方法・イメージ表現・デザイン方法を習得する。					
学習到達 目標	クリエイティブなデザイン表現ができるようになるため繊維・シェイプ・ムードボードなどを作成できる。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの実務経験を活かして学生に指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	デザイン論	自己紹介からファッションデザインを紐解く				
3～4	デザイン論	デザインフィソロフィー(ファッションデザインとはデザイナーとは何か)				
5～6	デザイン論	アートとファッションデザインとの違い				
7～8	デザイン論	オズボーンの法則(9種)からファッションデザインインスピレーション				
9～10	デザイン論	クロスリファレンス(相互参照)・シェイプ・構造				
11～12	デザイン論	ファブリックリサーチ・ムードボード				
13～14	デザイン論	コンテストBOOK				
15～16	デザイン論	リサーチとは何か・目的・対象				
17～18	デザイン論	リサーチとは何か(色・テクスチャ・模様・装飾)				
19～20	デザイン論	リサーチとは何か(アート・文化・歴史)				
21～22	デザイン論	トレンド				
23～24	デザイン論	カラーバランス				
25～26	デザイン論	リサーチ分析(レイアウトと構成)				
27～28	デザイン論のまとめ	コンテスト				
29～30	まとめ	修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	PC、コピックチャオ、色鉛筆、水性顔料ペン、クリアファイル					
参考図書 参考文献	『生地辞典』株式会社みずしま加工 『テキスタイル用語辞典』					
成績評価の 方法・基準	発想力30%、企画力40%、デザイン力30%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考	各自A4ノートを準備すること。 ※コンテスト募集に対応(随時)					

授業科目	服飾造形Ⅳ			時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。						
学習到達 目標	トータルコーディネート制作。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～22	舞台衣装(22コマ)		舞台衣装制作				
23～27	松山コレクション(40コマ)		パターン作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
39～62			裁断・縫製				
63～66	自由制作(28コマ)		パターン作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
67～90			裁断・縫製				
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性20%、縫製技術60%、スピード20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキングⅡ-B	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科2年
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要なデザイン表現技術の修得を目指す。				
学習到達 目標	基本型からの応用ができ、パターンからトワルを組み、立体の確認をする事ができる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、「今」のファッションを表現するパターンテクニックと 型紙の制作方法を指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	Tシャツ製図	サンプルを採寸しパターン制作			
3～4	実寸組立て	カットソー裁断・ミシン縫製			
5～7	スカートのバリエーション	マーメードスカート・プリーツスカート・ヨークドスカート・エンパイアスカート			
8～9	トワルによる実寸組立て	トワル裁断・ピンワーク(スカートバリエーションから1点選ぶ)			
10	検討会	スカートバリエーションの立体を確認			
11～12	身頃続きの袖	三角マチ・ひし形マチ・5角マチ(縮尺製図)			
13～14	トワルによる組立て	トワル裁断・ミシン縫製(1型選ぶ)			
15～16	メンズシャツ製図	台襟付きシャツカラー・シャツスリーブ			
17～18	メンズシャツ製図	パーツパターン抜き出し			
19～20	メンズシャツ製図	工業用パターン・仕様書作成			
21～22	ファッション3Dモデリング 導入	ファッション3Dモデリングの基本操作説明			
23～24	ファッション3Dモデリング 基礎	3D画面で立体でパターンを作成			
25～26	ファッション3Dモデリング 応用1	3D画面で立体でパターンを作成			
27～28	ファッション3Dモデリング 応用2	3D画面で立体でパターンを作成			
29～30	テスト	後期修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	配布プリント『パターンメイキングⅠ』他2冊、『ドレメオリジナル原型 1/5』他 約11点				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	舞台衣装Ⅱ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	川上 須賀代	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年
授業科目の テーマと目的	舞台衣装デザインに必要な表現力と発想力を身につけ、機能的な衣装制作を目指す。				
学習到達 目標	自ら課題を発見し、解決に導く力、想像力、発想力、表現力を習得する。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 コスチュームクリエーターとして活動している教員が、基礎的な舞台衣装制作の知識と技術を指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	衣装パターン①	使用素材の確認・修正パターン作成			
3～4	トワルチェック	最終トワルチェック			
5～6	パターン修正	修正パターン作成			
7～8	裁断	使用生地のカット、芯貼り			
9～13	制作	衣装制作			
14	最終フィッティング	衣装フィッティング			
15	最終確認	修正、納品に向けて仕上げ			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題80%(縫製、完成度)、プレゼンテーション20%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	色彩学Ⅳ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	「ファッション色彩Ⅰ」で学んだ色彩の基礎理論をさらに掘り下げ、ファッション業界の企画から流通に いたる様々な実務において色彩を活用できるよう考え方や手法を学ぶ。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定2級合格。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師 が、その経験を活かし、色彩の実務での活用方法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション産業における 色彩計画		ファッション 業界において色彩を取り扱う姿勢、情報としての色彩				
2～3	〃		商品企画における色彩計画				
4	〃		生産段階における色彩				
5	〃		販売における色彩計画				
6	〃		パーソナルコーディネートと色彩				
7～13	検定対策		過去問題集から模擬テスト、解答解説、試験勉強対策				
14	イメージコンサルティング		個人の魅力やニーズに応じたトレンドの取り入れ方、パーソナルカ ラー診断デモンストレーション				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅱ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験2級問題集：日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判(品番：23177) 3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm(コード：31247818)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定2級 2025年1月18日(土)		
備考							

授業科目	デジタル演習Ⅳ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	商品企画を中心にデジタルデザインで企画MAPなどを制作。						
学習到達 目標	自ら企画書を制作できプレゼンできる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	商品企画Ⅰ	シーズン企画					
3～4	商品企画Ⅰ	期中企画					
5～6	商品企画Ⅰ	SDGSからの企画 環境に配慮した素材					
7～8	商品企画Ⅰ	SDGSからの企画 リサイクル					
9～10	ポートフォリオ	作品集の構成と見せ方					
11～12	ポートフォリオ	ポートフォリオ制作					
13～14	ポートフォリオ	ポートフォリオ制作					
15	期末試験	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	研修			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	トレンド発信の早い韓国で、韓国ファッションの勉強と制作する生地や副資材の購入を行い、ファッションショー作品に使用する。						
学習到達 目標	イメージを具体化する、かつ数値の予定と併せた仕入れ業務を行う。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	事前準備		韓国トレンド、市場について				
3～14	研修		韓国資材購入				
15	研修まとめ		レポート				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキングⅡ-C		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース 2年	
授業科目の テーマと目的	パターンメイキング技術検定試験3級の筆記試験対策を主な目的とし、パターンメーカーに必要な基礎要素・基礎知識・技術の習得。					
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格を目指す。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	既製服の概念		既製服の基礎知識とパターンメイキング用語について			
2	〃		既製服のパターンについて、既製服の寸法			
3～4	ファースト パターンメイキング		フラットパターンの基礎知識(身頃、スカート、袖)			
5～6	〃		ドレーピングの基礎知識(模擬テスト)			
7	工業用パターンメイ キング		工業用パターンとは 工業用パターンの記号			
8～9	〃		工業用パターンの知識			
10～11	〃		工業用パターンメイキング(模擬テスト)			
12～13	グレーディング		グレーディングとは (模擬テスト)			
14	素材		素材の知識とパターンメイキング			
15	テスト		修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック(一般財団法人日本ファッション教育振興協会)					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30% 修了テスト70%で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験3級 2024年11月30日(土)		
備考						

授業科目	アパレルCAD I	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	玉井 牧子	時間割	隔週木曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース2年
授業科目の テーマと目的	特別設備のアパレルCADを使いこなし、企業のパタンナーでの就職に対応できるように学ぶ。				
学習到達 目標	アパレルCADを使いこなす。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして勤務実績のある講師が、その経験を活かして、アパレルCADの基本的な知識 や操作方法を指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	はじめに	CADについて説明			
2	PM	仕様書の見方、型紙をひく			
3～6	PM	デジタイザー入力、パターン展開、出力			
7～8	PM	パターン修正			
9～12	PM	寸法からパターン作成			
13～15	まとめ	実技テスト			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	操作手順習得状況50%、実技テスト50%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考	各自でノートを準備すること。				

授業科目	パターンメイキングⅡ-D			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース 2年		
授業科目の テーマと目的	デザインブラウスのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半で完成させる。						
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～7	実技練習A	ブラウスのファーストパターン、トワル組立ての反復練習					
8～15	実技練習B	ブラウスのファーストパターン、トワル組立ての反復練習					
使用テキスト 教材・教具	テンプレート、厚紙						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題作品70%、検定30%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験3級 2024年11月30日(土)		
備考							

授業科目	アパレルCADⅡ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	玉井 牧子	時間割	隔週木曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース2年
授業科目の テーマと目的	特別設備のアパレルCADを使いこなし、企業のパタンナーでの就職に対応できるように学ぶ。				
学習到達 目標	アパレルCADを使いこなす。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして勤務実績のある講師が、その経験を活かして、アパレルCADの基本的な知識 や操作方法を指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	はじめに	グレーディングについて			
2～6	GR	グレーディング			
7～10	GR	デザイン、寸法決め～グレーディングまで			
11～12	マーキング	マーカー入れ			
13～15	まとめ	実技テスト			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	操作手順習得状況50%、実技テスト50%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考	各自でノートを準備すること。				

授業科目	創作パターン/サンプル縫製 (メンズ・キッズ)		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野口 陽子		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース 2年	
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、デザイン表現技術の修得を目指す。					
学習到達 目標	メンズウェア・子供服・デニムパンツなど幅広いアイテムのパターン制作ができる。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、「今」のファッションを表現するパターンテク ニックと型紙の制作方法を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	ビスチェ製図		ビスチェの構造・実寸製図・パーツパターン抜き出し			
3～4	実寸組立て		トワール裁断・ミシン縫製			
5～6	メンズパンツ製図		ノータックパンツ(実寸製図)・パーツパターン抜き出し			
7～8	トワールによる実寸組立て		トワール裁断・ミシン縫製			
9～10	デニムパンツ製図		デニムの専門知識(特徴・用語等)・リーバイス501のサンプルより製図			
11～12	トワールによる実寸組立て		トワール裁断・ミシン縫製			
13～14	子供ワンピース製図		110サイズ原型製図・ワンピース製図			
15	テスト		修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	『メンズニューパターンメイキング』杉野学園、配布プリント					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要			
備考						

